

「香川・損保ジャパンの森」で、2回目の植林を実施 ～フォレストマッチングで協働の森づくり～

企業と協働で森づくりを進める「フォレストマッチング推進事業」で、去る6月1日(土)、(株)損害保険ジャパン高松支店等社員と家族の皆さん約60人が、森林の持つ水源かん養などの機能維持を願って、高松市塩江町の内場池上流「天満ヶ原」0.1haに、ヒノキ300本の植林を行いました。

当初予定していた5月25日(土)は雨のため、6月1日(土)に延期になりましたが、この日は、好天に恵まれ、参加者の皆さんは熱心に植林を行いました。



＜急斜面で植林に悪戦苦闘する(株)損害保険ジャパンの皆さん＞

昨年に引き続き、2回目となる今回の活動では、前回植林した場所よりも急な斜面に苦労しながらも、県や塩江町森林組合職員のサポートを受けて、2時間ほどでヒノキの苗300本を植えました。参加者の皆さんは爽やかな青空の下、心地よい汗を流しました。



＜ヒノキの苗＞



＜植林場所の向こうに讃岐山脈を望む＞



＜植林指導に耳を傾ける受ける参加者の皆さん＞



＜2時間の活動を終え、みんなで記念撮影＞

○香川・損保ジャパンの森

平成19年11月1日に(株)損害保険ジャパン、県、塩江町森林組合の3者が協定を結び共同宣言に署名しました。

平成19年11月18日に、第1回目の植林(0.1haにヒノキ300本)を実施しました。

○(株)損害保険ジャパンの環境保全活動について

「日本列島クリーン大作戦」に参加するほか、高知県で「いきいき共生の森」づくり活動を展開しています。